

2022年度

韓国 留学報告書

実習先： 慶熙 大学

実習期間： 9月 28日 ～ 2月 24日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号: 21021017
氏名：入澤京香

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4.5
4-2. 留学の詳細	5.6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学生活の写真	7
---------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

実習期間：令和4年9月28日(水)～令和5年2月24日(金)

※出国は9月26日(月)、帰国は2月27日(月)

2. 留学先概要

(1) 大学について

慶熙大学(경희대학교)は、1949年に設立され、ソウル・水原(スウォン)・光陵(クァンヌン)の3か所にキャンパスを構える私立大学である。慶熙大学は数ある大学の中でも、特に韓国語教育に力を入れている名門大学である。23の単科大学、7つの学部に87の学科があり、1つの一般大学院、4つの専門大学院、10の特殊大学院を持っている。

(2) 大学で行われている教育について

在学生と毎年100カ国余りの国々から来る約6000人の外国人に、韓国語と韓国文化の教育を行っている。最大の特徴は韓国人在学生が留学生のサポートをする「韓国語トウミ(チューター)制度」である。個人的な交流を通じて韓国の様々な文化に触れ会話することによって、言語だけでなく国際的な相互文化交流の促進につながる。

3. 留学目的

今回の留学では、語学力の向上と日本文化を伝えることを目的とした。私の将来の夢はホテルエになることだ。この夢を叶えるために、英語と韓国語の能力向上を目標にしている。将来、ホテルに来た海外のお客様に日本の文化を伝えるために、積極的に話す力、発信する力を身に着けたい。大学の部活動で学んでいる茶道や、幼いころから触れてきた民謡の踊りと着物について海外の友達に伝えたいと思った。また、大学入学後の一年半で学んだ韓国語がどの程度通用するのか試したかった。現地の同世代の子と積極的に関わって、韓国の大学生の日常を経験し、その経験の中で生きた韓国語を身につけようと思った。韓国の様々な名所に行き、その魅力をもっと知り、感じたかった。今回の留学は、自分の力を試し、成長する場にしたいと考えていた。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	26	到着、入寮
	27	オリエンテーション(nuis 学生)
	28	オリエンテーション・学祭
	29	授業開始・学祭
10	6	韓国語スピーチ大会
12	5	期末試験
	6	↓
	7	文化体験授業・ゲーム
	8	クラスの集まり・修了式
12	9	授業休み期間
	14	↓
	15	オリエンテーション
	16	授業開始
1	23	旧正月休み
	24	振替休日
2	21	期末試験
	22	↓
	23	文化授業
	24	クラスの集まり・修了式
	27	帰国

時間割

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限 ／ 2 限	9:10 ～ 11:00	文法	文法	文法	文法	文法
3 限 ／ 4 限	11:10 ～ 13:00	スピーキング &リスニング or リーディング or ライティング	スピーキング &リスニング or リーディング or ライティング	スピーキング &リスニング or リーディング or ライティング	スピーキング &リスニング or リーディング or ライティング	スピーキング &リスニング or リーディング or ライティング
午後 授 業			セミナー授業 (14:20~16:10)		文化授業 (15:20~17:10)	

4-2. 留学の詳細

<授業概要>

・通常授業

1限・2限は文法を学び、3限・4限は日替わりでスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを学んだ。クラスは各級ごとに分かれており、一クラス12人前後で編成される。クラスでは日本人だけでなく、香港やロシア、マレーシアなど様々な国の人と一緒に韓国語を学ぶ。似ている二つの文法の違いを確認するときや、会話文を作るときは、ペアワークだった。冬学期は、オンライン授業の日もあった。

・文化授業

韓国の歌やドラマから文化や新造語を学ぶ授業や、発音のトレーニングをする授業など、いくつかの授業から自分で一つ選択して授業を受ける。ドラマを教材にする授業では、一人でパワーポイントを製作し発表する時間もあった。

・セミナー授業

nuis の学生と慶熙大学の先生で行われる授業。2 人一組で ppt を作り韓国語で発表する授業。1 学期に 2～3 回ほど発表する。発表の題材は先生から提示される。1 回目の題材は、韓国の公園とカフェについてであった。ペアで実際に公園やカフェに行き、発表材料を集めた。最後の題材は環境問題についてであった。

5. 当初目的・目標への達成度

今回の留学は、語学力の向上と日本文化を伝えることを目的としていた。登下校時に先輩たちと韓国語で会話してみたり、放課後にクラスの日本人以外の友達と遊びに行ったりなど韓国語を話す時間を多く持つことができた。トウミとはカカオトークなどで何度も連絡を取った。トウミの活動が始まって間もない頃は知らない単語や文法が多く、翻訳アプリに頼ることがほとんどだったが、次第に翻訳アプリを使わずに連絡が取れるようになった。これらの経験から、語学力は向上させることができたと感じている。トウミなどからもスピーキング能力が向上したことを褒めてもらうことができた。外国人のクラスメイトやトウミとお互いの国について話をする中で日本文化を伝えることもできた。そして色々な国の人と関わって友達になる楽しさを知った。留学先に持参した茶道の道具で、出会った人たちにお茶をふるまおうと考えていたが、お湯の調達が難しかったため実現できなかった点は心残りである。

6. 反省点・課題

留学中にしようと思っていたことの半分しか実行できなかったことを後悔している。韓国にいる昔の友人たちに会ったり、登山をしたり、美術館に行ったりしようと思っていたのだが実現できなかった。留学生活は毎日イレギュラーで退屈することがない。そのため時間が過ぎるのが本当に早い。留学に行く前などできるだけ早いタイミングでしっかり計画を立てておくことが重要だと感じた。準備しておくといものは、化粧品の替えである。普段使っている化粧品が切れると少し困った。

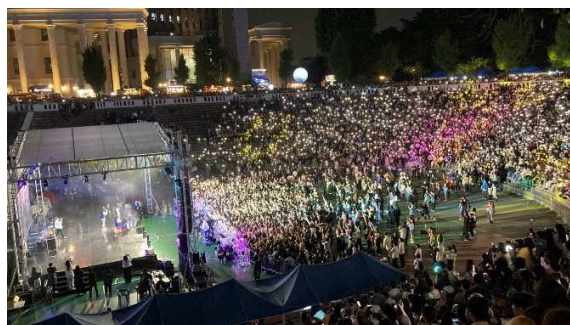
7. 謝辞

今回お世話になった慶熙大学の先生方をはじめ、寄宿舍の寮長さんや管理人さん、その他携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方と学務課の皆さん、本当にお世話になりましたことを感謝いたします。また新潟国際情報大学からの奨学金により留学をすることができました。そして、応援してくれた両親や支えていただいた方々に心よりお礼申し上げます。この度は誠に有難う御座いました。

付録：留学生活の写真



↑慶熙大学図書館



↑学祭



↑文化授業



↑クラスの友達とカラオケ



↑セミナー授業(景福宮)



↑トウミと観光



↑トウミとディナー